

## 石戸浄水場 廃止に関する経緯と見通しについて（桶川北本水道企業団 令和 7 年 8 月）

### 1. 当初計画（平成 27 年度）

- 「水道事業ビジョン」において、石戸浄水場を令和 7 年度に廃止する方針を定めた。

### 2. 検証結果（平成 30 年度）

- 「石戸浄水場周辺地域の管網整備計画作成業務委託」にて石戸浄水場廃止後の水運用を検証。
  - 川田谷浄水場電源を「PC 系」「RC 系」に分割。
  - いずれかを常時運用可能とするため、2 電源化が必要との結論。

### 3. 対応計画（令和元～2 年度）

- 「水道事業実施計画策定業務委託」により、川田谷浄水場の電気設備更新計画を策定。
  - ・ 2 電源化を盛り込み、当初は令和 5～6 年度での完了を予定。

### 4. 設計検討（令和 3～4 年度）

- 設計業務委託により川田谷浄水場電気設備更新の詳細設計を実施。
  - ・ ウクライナ情勢による資材調達難を考慮し、工期を令和 5～7 年度の 3 か年に設定。

### 5. 進捗（令和 5 年度～令和 8 年 3 月）

- 令和 5 年度：予定どおり着工
- 令和 8 年 3 月：電気設備更新工事完了予定
  - 2 電源化の実現により、石戸浄水場の廃止が可能となる。

### 6. 今後の計画と課題

- 令和 6～8 年度：水道事業基本計画等改定業務委託を実施中（※水道事業ビジョンの見直しを含む）
- 令和 8～10 年度：加納配水場の電気設備更新工事を予定
- 近年：平均配水量が予測値を上回る傾向
  - 工事期間中にトラブルが発生した場合、安定給水を確実にすることが難しくなるリスクあり。

→ 石戸浄水場の廃止時期は、加納配水場工事や需要動向を踏まえ、慎重に再設定が必要。

※経緯の時系列まとめ

年度	区分	内容
平成 27 年度	計画	「水道事業ビジョン」において、石戸浄水場を令和 7 年度に廃止する方針を定めた
平成 30 年度	検証	「石戸浄水場周辺地域の管網整備計画作成業務委託」にて検証 → 川田谷浄水場電源を「PC 系」「RC 系」に分割し、2 電源化が必要と結論
令和元～2 年度	対応計画	「水道事業実施計画策定業務委託」により川田谷浄水場の電気設備更新計画を策定 → 当初は令和 5～6 年度で完了予定
令和 3～4 年度	設計検討	設計業務委託により川田谷浄水場電気設備更新の詳細設計を実施 → ウクライナ情勢による資材調達難を考慮し、工期を令和 5～7 年度（3 か年）に設定
令和 5 年度	工事着工	電気設備更新工事に予定どおり着工
令和 8 年 3 月	工事完了予定	川田谷浄水場の電気設備更新工事が完了予定 → 2 電源化の実現により、石戸浄水場の廃止が可能となる
令和 6～8 年度	基本計画改定	「水道事業基本計画等改定業務委託」を実施中（※水道事業ビジョンの見直しを含む）
令和 8～10 年度	今後の課題	加納配水場の電気設備更新工事を予定 → 近年、平均配水量が予測値を上回っており、工事期間中の安定給水にリスク